

実施するものである。

また、市長、副市長及び教育長は、今回の職員の取り組みを勘案し、既に実施している特例減額から、さらに5%を追加するものである。

質疑 減額率を3区分にした理由は何か。

答 国及び埼玉県と同様の区分としたもので、ラスパイルス指数を100にするため、最も職員に影響のない低い率で収まる区分とした。

質疑 減額される具体的な金額について。

答 月額平均では、1級及び2級の職員が7742円、3級の職員が2万449円、4級の職員が2万3567円、5級の職員が2万6437円、6級の職員が2万8022円、7級の職員が3万9148円、8級の職員が4万981円である。なお、平均の減額率は6・3%で、減額の総額では1億1600万円である。

○平成25年度行田市公共下水道遮集幹線管渠建設工事委託に関する協定について（原案可決）

本事業は、市内緑町・向町地内において、下水道合流改

善対策事業（延長604m）として、生活環境の改善と公共用水域の水質の保全に資することを目的に、日本下水道事業団と建設工事委託に関する協定を締結するものである。

補正予算
補正総額
2296万円余り

○平成25年度行田市一般会計補正予算（原案可決）

歳出の主なものとして、昨年度末の耐震診断結果を受け、耐震改修が必要となった保健センター庁舎、消防南分署管理棟及び車庫棟、北河原小学校屋内運動場、太井公民館、南河原公民館について実施設計のための経費をそれぞれ計上するものである。

なお、これらを賄う財源は、国庫支出金及び前年度繰越金により措置するものである。



南河原公民館

議会人事

**議長に香川宏行議員
副議長は松本安夫議員**

本定例会最終日の6月27日

に、正副議長の辞職に伴う選挙が行われ、議長に香川宏行議員（新政策研究会・3期目）、副議長には松本安夫議員（黎明21・2期目）が選出されました。

また、同日に各常任委員会正副委員長の辞任に伴う互選が行われ、新しい正副委員長が次のとおり決まりました。

○総務文教常任委員会

委員長 吉田 幸一
副委員長 東 美智子

○建設環境常任委員会

委員長 野口 啓造
副委員長 高橋 弘行

○健康福祉常任委員会

委員長 二本柳妃佐子
副委員長 新井 教弘

監査委員に新井孝義議員

監査委員の選任に関する議案が市長から提出され、議会選出の監査委員として、新井孝義議員（しんりよく会・3期目）の選任に同意しました。

農業委員会委員に2名推薦

農業委員会委員に2名の欠員が生じたため、次の2名を議会推薦委員として推薦しました。

平社 輝男
野口 啓造

議長 香川 宏行



副議長 松本 安夫



就任のあいさつ

このたび、議員各位のご推挙を得まして、議長・副議長の要職に就任いたしました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、本市を含め、地方自治体の財政は依然として厳しい状況ではございますが、活力と魅力にあふれ、安全で住みよいまちづくりを進めていくことが市民の皆様の一一致した願いであるとの認識に立ち、その負託にこたえるべく、市議会といたしましても、全身全霊を傾け努力してまいる所存でございます。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。